

# " ; 指定した拡張子を持つユーザーが既にパーティションに存在する場合のトラブルシューティング" ; エラー

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[バックグラウンド情報](#)

[トラブルシュート](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco Unity Connectionの「A User with the specified extension already exists in the Partition」エラーのトラブルシューティング方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unity Connection ( CUC )
- Cisco Unified Communications Manager ( CUCM )

### 使用するコンポーネント

- Cisco Unity Connection 15su2
- Cisco Unified Communications Manager 15su2

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## バックグラウンド情報

このエラーは、通常、ユーザをCUCMからインポートするときに表示されます。

このメッセージは、インポートしようとしているユーザと同じ拡張子を別のユーザがすでに使用

していることを示しています。この問題は、プライマリ内線番号だけに適用されるのではなく、別のユーザに割り当てられた代替内線番号に関連する場合があります。この場合、正しい情報を表示するように検索フィルタを変更する必要があります。

## トラブルシューティング

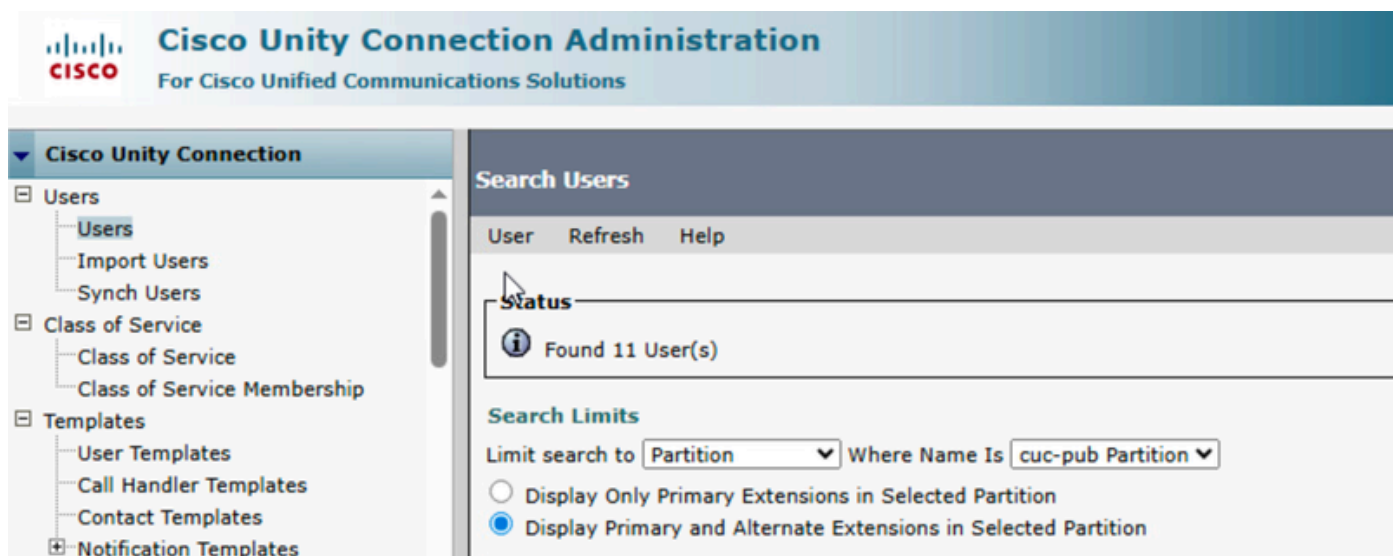
ステップ 1: エラーログファイルで影響を受ける拡張子を特定します。

Thursday, February 12, 2026 5:32:40 PM CST ERROR importing user (webextest) with extension = 104 : A User

ステップ 2 Users > Usersに移動します

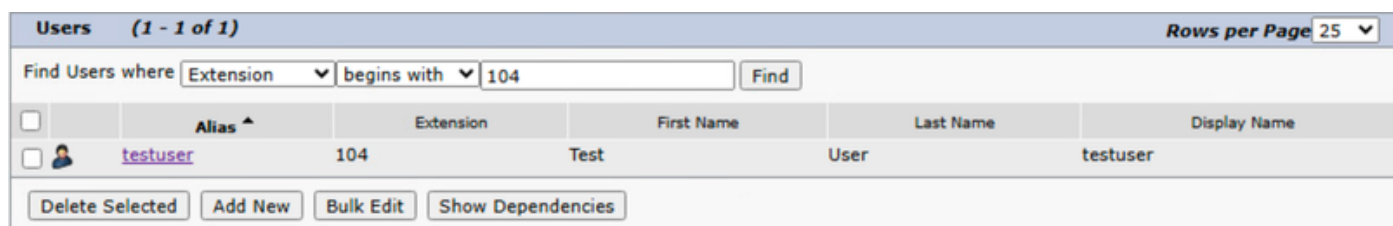
ステップ 3 検索制限パラメータを次のように変更します。

- 検索を「パーティション」に制限します。
- Nameは「目的のパーティションを選択」です。
- 「選択したパーティションにプライマリおよび代替の拡張機能を表示」オプションを選択します。



ステップ 4 特定された内線番号が設定されているユーザを検索します。

- 「Extension」の場所でユーザを検索します。
- 「identified extension」で始まります。



ステップ 5 フィルタは、指定された内線番号で設定されたユーザを返すようになります。

ステップ 6代替内線の場合は、ユーザ設定>編集>代替内線に移動します。

Alternate Extensions

Search Users ▶ Edit User Basics (testuser) ▶ Alternate Extensions

User Edit Refresh Help

Status

Found 1 Administrator Defined Alternate Extension(s)

Found 0 User Defined Alternate Extension(s)

Alternate Extensions

Delete SelectedAdd New

	Phone Number or URI	Display Name	Phone Type
Administrator Defined Alternate Extensions			
<input type="checkbox"/>	104	104	Work Phone
User Defined Alternate Extensions			

Delete SelectedAdd New

ステップ 7ユーザを特定したら、必要に応じて設定を変更します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。